

ニュースリリース

(日本語抄訳版)

2022年3月1日

株式会社メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン



メッセ・デュッセルドルフグループ、ロシアでの事業活動を一時停止

デュッセルドルフ／モスクワ

ウクライナにおける憂慮すべき展開をうけ、メッセ・デュッセルドルフの監査役会は、当グループのロシアでの事業活動を一時停止することを決定しました。これに伴い、子会社であるメッセ・デュッセルドルフ・モスクワの活動も休止します。

デュッセルドルフ市長、かつメッセ・デュッセルドルフ監査役会会長であるシュテファン・ケラー博士は次のように語っています。「デュッセルドルフ市はウクライナの人々のことを思っています。すでにモスクワとデュッセルドルフの姉妹都市関係は凍結されており、同市の傘下にあるメッセ・デュッセルドルフがロシアでの活動を当面停止するのも当然のことです」と述べています。

メッセ・デュッセルドルフの代表取締役社長ヴォルフラム N・ディーナーは、「現在の出来事は、国境に左右されない自由な文化・経済交流のためのインターナショナルマーケットプレイスを創造するという当社の使命と価値観に反するものです」と付け加えました。

全文（英語）は[こちら](#)

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 4-1 ニューオータニ ガーデンコート 7F

TEL: 03-5210-9951 e-mail: mdj@messe-dus.co.jp